

「福利厚生最適化」サービス のご案内

多様な人材を許容できる人事制度、業務効率化による長時間労働是正、ワークライフバランスの実現など働き方改革に求められるものはたくさんあります。

企業にあった働き方改革を支援いたします。

現代「福利厚生制度」の課題

1. 福利厚生に求められる要件も時代とともに変化している。

終身雇用時代から人材流動・雇用体系多様化時代へと労働環境が変化
低賃金の補完から人材確保・人材活用へと目的が変化
働き方改革、ワークライフバランス、メンタルヘルス対策など新たなニーズの発生

2. 費用対効果の高い制度構築・運用を求められる。

原資が限られているため、サービスの「質」が重要
横並び制度から、差別化された制度への期待
費用負担が大きくても、従業員満足度につながらないケースも発生

3. 従業員内で利用しない者、不公平感が発生する。

自社独自制度によるサービスラインナップの限界
従業員数、拠点数が多いほど、最大公約数的なサービスが構築
世代間や家族構成の違いによるニーズの多様化

「福利厚生制度」 の最適解

総花主義から、費用対効果に重点をおいた福利厚生制度&サービスへ
労働環境の変化に順応した受益偏重から相互扶助・自助努力支援の福利厚生制度&サービスへ
企業戦略・複雑な人事制度との整合性がとれた福利厚生制度&サービスへ

「福利厚生最適化」サービス 3つの特徴

費用対効果の見える化

効果測定のできるサービス

- ・ 法定福利費・社会保険料・税金の節減
- ・ 従業員満足度の評価
- ・ 残業時間、労働生産性を指標化

優先施策へフォーカス

優先順位をつけて重点的に

- ・ 企業負担の大きい領域にフォーカス
- ・ 法定福利費、年金、住宅、WLB など
- ・ 自社のニーズにあった領域選択が可能

オーダーメイドの制度

自社戦略にあった福利厚生制度

- ・ 制度設計から運用まで一貫支援
- ・ 自社戦略に合った制度選択が可能
- ・ パートナー企業のサービス提供

「福利厚生最適化」 サービスラインナップ

- 賃金・報酬制度設計コンサルティング
- 退職金・企業年金コンサルティング
- 社宅制度コンサルティング
- 働き方改革支援コンサルティング
- 福利厚生アウトソーシング
- その他人事コンサルティング